

日本の LCC3 社の実績 (2013 年度)
 ~その1 旅客実績~

1. LCC 3 社の旅客実績 (2013 年度)

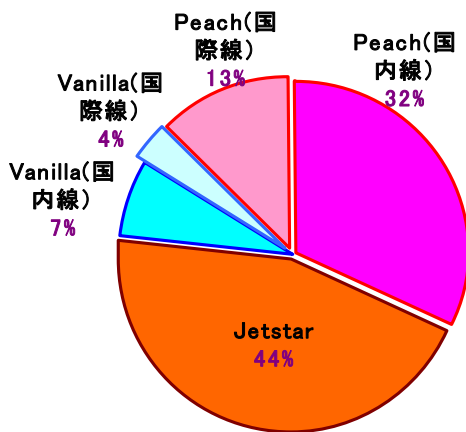
- ・ 総旅客数は 674 万人 ⇒ Peach と Jetstar-Japan が 300 万人規模
- ・ うち国内線は 565 万人 ⇒ 国内線総旅客数の 6% を占める。
- ・ 搭乗率※は Peach が「84%」と最も高い (前年は「78%」)
- ・ Jetstar も「78%」と前年の「72%」より向上。
- ・ Vanilla は前年の「65%」より改善したが、「68%」にとどまった。

《図表 1》LCC の旅客実績 (2013 年度)

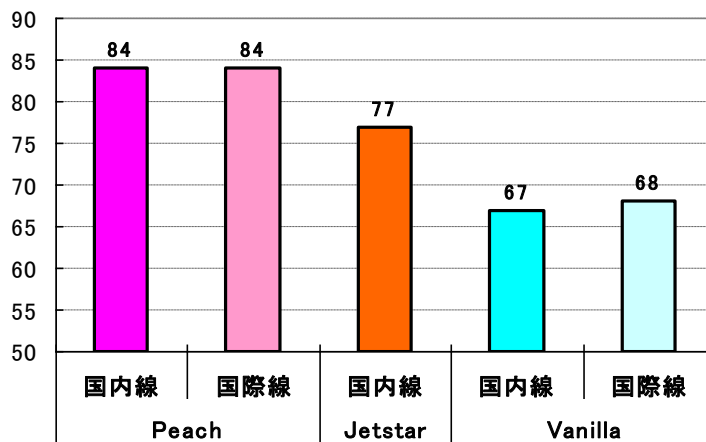
		Peach	Jetstar-J	Vanilla	合計
成田路線	旅客数		215	41	256
	搭乗率		77	71	76
関空路線	旅客数	215	38		253
	搭乗率	84	78		83
中部路線	旅客数		48	8	56
	搭乗率		73	55	70
国内線計	旅客数	215	302	49	565
	搭乗率	84	77	67	78
国際線計	旅客数	85		24	109
	搭乗率	84		68	80
LCC 計	旅客数	300	302	72	674
	搭乗率	84	77	68	78

LCC シェア 6% 国内線 総需要 9,248

《図表2》旅客の会社別（際内別）割合；（単位；％）



《図表3》会社別（際内別）搭乗率比較；（単位；％）

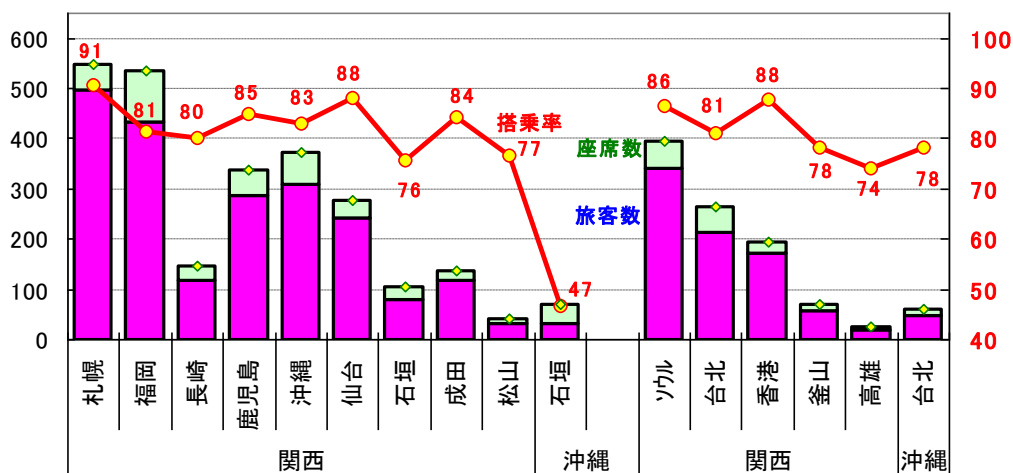


2. LCC各社の路線別旅客実績(2013年度)

(注3) 棒グラフは座席数と旅客数(千席/千人)、折れ線グラフは搭乗率(%)を示す。

- ① Peach ; 大半の路線が80%超、残る路線も70%台後半が多い。
那覇=石垣線だけは50%を下回った。

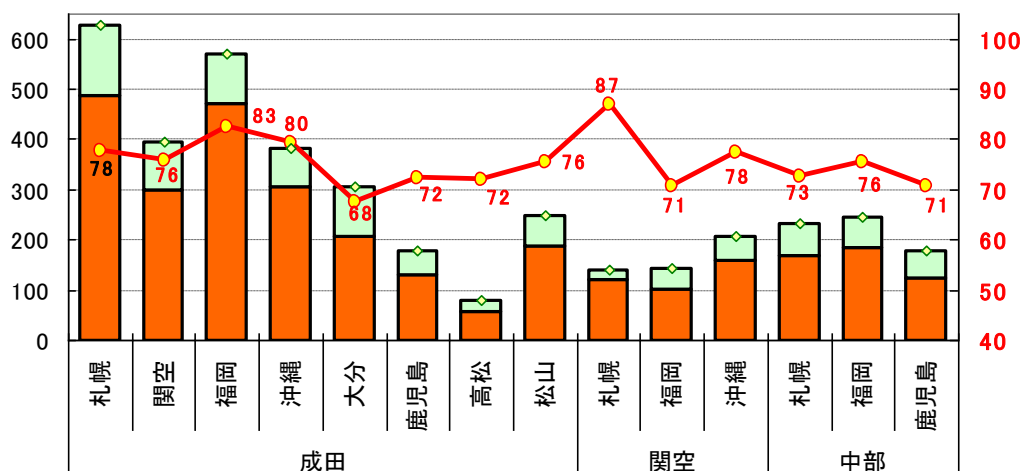
《図表4》Peachの路線別旅客実績(座席数、旅客数、搭乗率)



② Jetstar-J； 大半の路線が70~80%の範囲内。

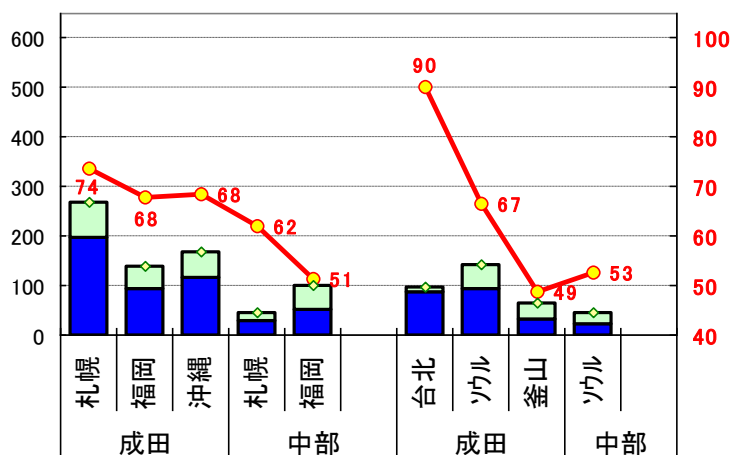
関西＝札幌、成田＝福岡、沖縄の3路線が80%超、
成田＝大分線は68%

《図表5》Jetstar-Jの路線別旅客実績（座席数、旅客数、搭乗率）



③ Vanilla； 新規開設の成田＝台北線では90%と高く、成田＝札幌線では70%を上回ったが、4路線は60%台、3路線では50%前後と不振。

《図表6》Vanillaの路線別旅客実績（座席数、旅客数、搭乗率）

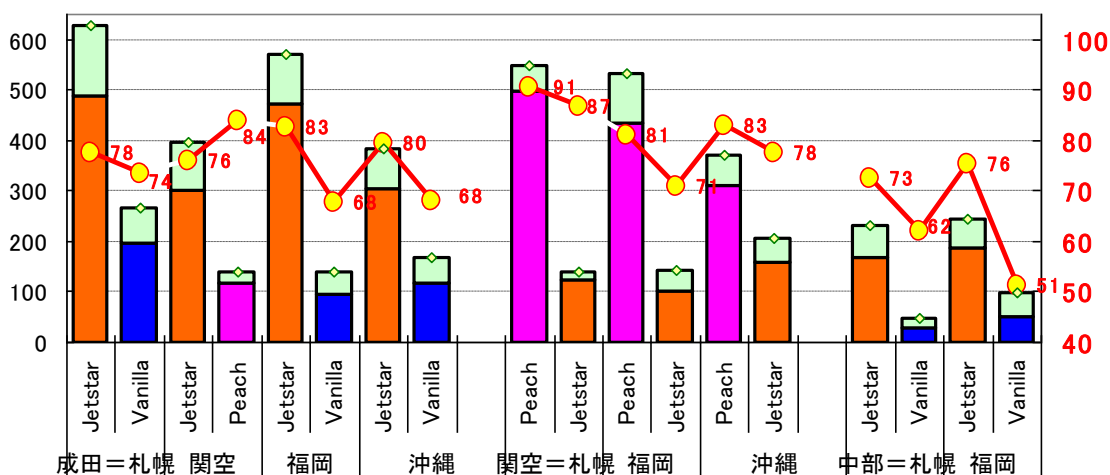


④ 競合路線での旅客実績の比較

LCC2 社が競合する路線で、搭乗率の傾向がはっきり出ている。即ち

- ・どの路線でも Peach は Jetstar よりも高く
- ・どの路線でも Vanilla は Jetstar よりも低い。

《図表 7》 競合路線での旅客実績比較



次は LCC3 社の運航品質（欠航率等）や収入単価について、既存会社と比較します。

以上